



▲休憩スペース
休憩スペースには軽食やドリンクが。壁面に描かれているのは、三池崇史監督作品の美術を手がけることなどで知られる、映画美術監督・林田裕至氏の直筆！舞台挨拶に来られた際に、2日かけて2面を描かれたのだとか。ド迫力！



◆館内の様子
40代、50代～の方には懐かしさもある「映画館」のムードを、今なお感じられる館内。当時の気分に浸りながら映画を楽しむのもオススメ



◆フリーメッセージボード
見たい作品のリクエストや、映画ファン同士の交流の場として設けられている「掲示板」。「ぜひ〇〇やってください」「居心地がいいのでまた来ます！」などの声がびっしり

▼フィルム映写機
スクリーン1のフィルム映写機。昔はフィルム映写機が2台並んでいたところへ「1台横へずらしてデジタルを入れました(笑)」。スクリーン2では、実際に35mmのフィルムにて上映中だった



マネージャー
亀谷 宏司さん

好きな映画は「私をスキーに連れてって」。「一番見ているというならこれです。ベタすぎるくらいベタで娯楽大作過ぎてあまり現実味はありませんが(笑)、当時の社会すべてが詰めこんである。スキーが好きなので、年に1回ずつ、冬が近くなると見えています」



住所 刈谷市御幸町4-208 愛三ビル5F
TEL 0566-23-0624
愛三ビルに入ってすぐのエレベーターで5Fへ。エレベーターを降りてすぐが刈谷日劇への入り口。「愛三ビル」隣接(南側)に駐車場あり(パチンコ店共同)。上映スケジュールや料金などの詳細は公式サイトをご覧ください。
URL <http://kariyanichigeki.com>

**残したい刈谷の文化・芸術
仕事帰りにもぶらっとどうぞ**

興行収入など、やっと少しずつ映画界も盛り返してきているようですが、さまざまな娯楽やレジャーのある今日、刈谷というまちの規模でも、一企業でのミニシアターの経営は、いつ閉館しても仕方ないような状況なのだろう。それでも堀部社長は「刈谷の文化や芸術を少しでも残していきたい」と考えています。この春には近隣市とも協力しフィルムコミッションの立ち上げも計画中で、映画をきっかけにしたまちづくりにも取り組んでいます。亀谷さんは「スクリーン2は名画座スタイルなの

で、入場料を払えばお気に入りの作品ならくりかえし観て一日中も楽しめます。本命のついでに見た作品が面白かったという経験もありますから(笑)、新しい作品に出会えるきっかけにもなる。地元の方にも映画ファンにも満足してもらえ作品を提供したい。映画館を残したいという社長の思いにも応えたいです」とお話ししてくださいました。

毎月第2土曜の19時から、亀谷さんと刈谷日劇ファンとで、映画についてワイワイと語らう場が設けられています。「ギャラをお支払いしているわけでもないんです(笑)、皆さん集まってくださって(笑)、皆さんにいろいろ教えていただいています。その後お茶をしに



60余年の歴史あり
刈谷市唯一の映画館
刈谷日劇

**仕事帰りにぶらっと
映画でもどうぞ?**

スクリーン1が76席、スクリーン2が55席という、こじんまりとした上映室。不思議と落ち着く雰囲気、音響も◎と評判

昭和29年、過3本の映画を上映する洋画専門館として、先代社長が広小路町に開館した「刈谷日劇」。昭和46年に御幸町へ移転、平成13年のリニューアルを経て、平成24年からは2スクリーンのミニシアターとして営業しています。市内にいくつかあった映画館はすでに閉館し、市唯一の映画館となった刈谷日劇。お話を伺ってきました。

**地元の人も、映画ファンも
作品と交流を楽しめる場所**

スクリーン1では最新のデジタル映写機による新作を、スクリーン2ではいわゆる「名画座」スタイルの2本立てをと、1つの映画館の中で2つの楽しみ方ができる「刈谷日劇」。20年前に入れ替えたというスピーカーは、「当時最高級なものを入れたんです。セッティングの関係か、シネコンよりもいい音がする」と言ってくださる方も多く、代表取締役の堀部さん。そのため、音楽に関係した映画を比較的多く上映しているのだとか。スクリーン1は堀部社長が、スクリーン2はマネージャーの亀谷さんが作品を選んでいますが、「作品選びの参考に

するのは、お客さまのリクエスト」と亀谷さん。マニアクになり過ぎず万人に楽しんでもらえることにも留意して、作品選びをされています。

刈谷日劇ならではの特徴のひとつが、今でもフィルム上映が楽しめること。フィルム作品を昔と同じ環境で見られるので懐かしさ、また貴重だということから、作品によっては名古屋や東京からもファンが訪れています。亀谷さんは「ここでしか観られないものを求めて遠方から来ていただいているのはとてもありがたい。でも、もっと地元の方にも気軽に来てもらえたら」と考えています。近年では、テレビはもちろんだらDVDレンタルなども増え頻繁には映画館に行かない方も多いため、



代表取締役
堀部 俊仁さん

アクションものなどの洋画がお好きな堀部社長。悩んだ末のお気に入り1作品は『グラディエーター』。「アカデミー賞もとりましたよね。ラッセル・クロウ、カッコいいでしょう」

写真が動く! FrimoAR 使用方法

App Store / Google play でFrimoARを検索

- ① FrimoARを起動して、Startマークをタッチ
- ② ①がついた対象写真にカメラをかざすとスキャンがはじまります。
※写真の向きに併せてカメラをかざしてください
- ③ スキャンに成功すると動画がスタート!